

第108回新生ふくしま復興推進本部会議
第23回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議 合同会議 議事録

- 日時：令和3年9月3日（金）13：00～13：10
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、議題「応急仮設住宅の供与期間の延長」について、避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

資料1を御覧ください。

応急仮設住宅の供与期間の延長についてですが、大熊町、双葉町について、避難指示が解除された区域は一部に限られ、帰還環境の整備や生活再建の見通しに時間を要すること等から、国及び両町との協議を踏まえ、引き続き、令和5年3月末まで1年間延長することとするものであります。

今後とも、安定した住まいの確保に向け、しっかり支援してまいります。

【鈴木副知事】

今の説明について、何かありますか。なければ、原案のとおり決定することといたします。

知事からお願いします。

【知事】

震災から10年半が経過しようとしています。住まいや今後の生活の見通しなど、避難者の皆さんが抱えている課題は個別化・複雑化しています。

引き続き、避難されている方が一日も早く生活再建をすることができるよう、国や関係自治体等と連携して進めてください。

【鈴木副知事】

次に、報告事項の①「国の令和4年度予算概算要求」、報告事項の②「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について併せて、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料2を御覧ください。政府予算対策につきましては、6月の政府要望を皮切りに、新型感染症の感染防止対策を図りながら、国との直接対話や、オンラインによる協議を重ねてまいりました。

資料の左側は、先月の福島復興再生協議会の場において、知事から各大臣に直接要望いただきました項目を記載しております。右側は、先月末に各省庁から提出された令和4年度概算要求の主な状況を対応させております。

まず、本県が重点項目として要望したALPS処理水の処分に係る責任ある対応については、先月24日の当面の対策に基づき関連予算が盛り込まれておりますが、今後、寄せられた意見を年内に取りまとめる行動計画に反映し、必要な予算を確保した上で着実に対策を講じるよう、国に対して求めていく必要がございます。

また、事項要求とされた特定復興再生拠点区域外の対応や国際教育研究拠点の整備についても、地元の意向等を丁寧に訴えながら、必要な予算が計上されるよう、引き続き求めてまいります。

避難地域の復興・再生に必要な福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業、避難者支援制度の充実に必要な被災者支援総合交付金、風評・風化対策を含む農林水産業の再生等に係る予算については、おおむね本県の要望が反映されております。

今後、各省庁による財政当局との折衝が始まりますが、各省庁を後押しできるよう、各部局が引き続きデータ等を用いて丁寧に説明し、年末の政府予算案の決定に確実に反映されるよう、本県の実情や課題をしっかりと訴えてまいります。

次に資料3を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想関連予算についてであります。

資料左側の8月の福島復興再生協議会において知事から要望していただきましたイノベ構想の推進に関する各項目について、右側にそれに対応した令和4年度概算要求の主な状況を記載しております。

重点項目として要望した「国際教育研究拠点の実現」は事項要求となっておりますが、「研究開発等の推進・産業集積の促進」のロボット・ドローン分野では、新たに福島ロボットテストフィールドを活用した次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクトが計上されるなど、必要な予算が盛り込まれたところであります。

引き続き、本県の要望の着実な予算化に向け、国との調整にしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関連して、避難地域復興局。

【避難地域復興局長】

避難地域復興局関係では、福島再生加速化交付金、特定復興再生拠点整備事業や被災者支援総合交付金等、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。

さらには、金額は明示されておりませんが、特定復興再生拠点区域外に係る調査等事業が事項要求として盛り込まれております。

引き続き、必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

生活環境部関連では、中間貯蔵施設の整備・運営など、本県の環境回復に必要な予算を始め、ふくしまグリーン復興構想や脱炭素の視点での復興まちづくりなど、未来志向の環境施策を推進するための予算が盛り込まれております。

このほか、被災地域における鳥獣被害対策や公共交通の確保など、県民生活の安定・向上を図る予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

保健福祉部では、被災者の心のケアへの支援や、避難地域等における医療提供体制の再構築など、被災地である本県に中長期的に必要な取組についての予算が計上されております。

今後も、これらの予算が確実に確保できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、関係省庁の概算要求に、企業立地補助金や地域復興実用化開発促進事業のほか、浜通り地域の交流人口・消費拡大に向けた予算が計上されました。

また、観光関連復興支援事業など、観光の風評払拭を更に推進するための予算が計上されました。

これらの予算が確実に確保されるよう、今後ともしっかりと対応してまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部政策監】

農林水産部関係では、水産物の販路回復等を支援する水産業復興販売加速化支援事業が、新たに41億円計上されました。

また、風評払拭を総合的に支援する事業が、福島県農林水産業復興創生事業と名称変更の上、41億円が計上されたほか、農業・農村整備事業やふくしま森林再生事業なども計上されております。

今後、これらの予算が確実に確保されるよう関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部】

土木部関連では、社会資本整備総合交付金（復興）による道路事業や国営追悼・祈念施設整備事業が盛り込まれております。

その他、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、事項要求として盛り込まれております。引き続き、河川改修や緊急輸送路の整備等を重点的に進めるため、必要となる予算の確保に向け、取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育長】

1の欄では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置、4の欄では、イノベーションを担う人材育成など、「福島ならではの」教育を担うための予算が計上されております。

引き続き、子どもたちが安心して心を動かしながら学ぶことができる教育環境づくりに向け、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

他にありますか。

なければ、知事からお願いします。

【知事】

国の来年度概算要求の状況がまとまりました。

各部局から話がありましたとおり、それぞれがこれまで国との協議を進めてきました。あわせて、新型コロナウイルスの状況に応じて直接対面する、あるいはオンラインによる協議を重ね、あらゆる機会を捉え、令和4年度の予算確保を福島県として訴えてきました。

その結果、ALPS処理水の処分への対応、特定復興再生拠点区域外や国際教育研究拠点の関連予算については、引き続き、地元の意向等に寄り添った丁寧な対応を国に求めていく必要があります。

また、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、福島イノベーション・コースト構想の推進、風評払拭・風化防止対策などについては、おおむね本県の要望を踏まえる形で、各省庁に対応していただきました。

第2期復興・創生期間の2年目においても、切れ目なく着実に復興・創生の取組を進めていくため、本県の要望が確実に年末の政府予算案に反映されるよう、引き続き、国との協議・調整に各部局とも粘り強く取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で、合同会議を終了します。